

平成 27 年度 第 1 回田平町地域協議会会議録

- 1 . 会 場 たびら活性化施設会議室
- 2 . 日 時 平成 27 年 4 月 16 日 (木) 13 時 30 分開会
- 3 . 出席委員 久原鐵男委員、岡斉委員、中西正人委員、中村正利委員、
吉福弘実委員、長田康志委員、松本一郎委員、永井正則委員、
早田博子委員、須藤豊博委員、安田豊委員、針尾郁子委員、
小田浩吉委員、手島りつ子委員、針尾幸一郎委員
- 4 . 欠席委員 なし
- 5 . 職 員 山口龍一郎田平支所長、森川祐輔地域振興課長、
立石哲也地域振興課参事監、今村達也市民協働班長、
松本哲朗産業建設班長、中村雄嗣産業建設班係長、
百枝史朗教育委員会田平分室長、村川宏教育委員会田平分室係長
千代延貴史地域振興課主査
- 6 . 議事録署名人 中西正人委員、針尾幸一郎委員
- 7 . 傍聴人の数 4 人
- 8 . 審議案件等の概略及び審議結果

13 時 30 分 開会

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
 市長から各委員に委嘱状交付
- (3) 市長挨拶
- (4) 会長・副会長の選任
 推薦委員会の推薦により決定

会長に久原鐵男委員、副会長に岡齊委員を全委員一致で承認

(5) 会長・副会長挨拶

会長・副会長がそれぞれ挨拶

事務局

会議を進めていきますが、地域協議会の運営等に関する規則第 2 条の規定によりまして、議長は会長にお願いいたします。

会長

それでは、事務局から説明がありましたとおり、議長を務めさせていただきます。

審議に入ります前に、本日の出席委員数は、15 名中 15 名の出席で、地域自治区の設置に関する協議書第 9 条の規定により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを宣言いたします。

続いて議事録署名委員の指名を行います。このたび、委員が変わられましたので、前例により、委員名簿の上から 1 名、下から 1 名となりますので、中西正人委員、針尾幸一郎委員を指名いたします。

(6) 職員紹介

会長

続きまして、職員の紹介に移りたいと思います。事務局からお願いします。

事務局

支所長より紹介

(7) 職務説明

会長

それでは、地域自治区並びに地域協議会委員の職務について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、地域自治区並びに地域協議会委員の職務について、ご説明いたします。

～以下説明～

- ・地域自治区の設置に関する協議書第 3 条設置期間について（平成 33 年 3 月 31 日まで延長）
- ・地域自治区の設置に関する協議書第 8 条権限について
- ・平戸市総合計画（一部抜粋）について

- ・地域協議会の運営等に関する規則について
- ・平戸市田平支所行政機構図（平成 27 年 4 月 1 日現在）について
- ・平戸市行政機構図（平成 27 年 4 月 1 日現在）について
- ・地域協議会の開催について（年 5 回定例市議会前・ 4 月、 5 月、 8 月、 11 月、 2 月に開催、主にまちづくり活性化事業・やらんば市民活動サポート事業の審査及び評価、報酬は 1 回 5,000 円）

会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆さんから質問があればよろしくをお願いします。

～質疑応答～

委員

地域おこし協力隊を 2 名採用されていますが、行政機構図に地域おこし協力隊の配置を明記した方がよいと思いますが。

事務局

拠点は教育委員会田平分室、執務は田平支所で行うように検討している。所管は総務部地域協働課である。

委員

拠点を教育委員会田平分室でそれから田平支所に行くことは効率性に欠けるのでは。田平支所が広いから支所に置いた方がいいと思うが。分室は社会教育が主であり、地域おこしにはあまり関係ない。

事務局

総務部所管であり、田平支所とやり取りを行っている。教育委員会に配属されるが、一方で協働によるまちづくりを進める上では田平支所が所管となるため、総務部に話をしてしかるべき対応をする。

委員

地域おこし協力隊は 2 名ということですが、最初 3 名ということではなかったか。補充は行わないのか。

委員

校区に1名という説明ではなかったか。

事務局

当初3名でしたが、止むを得ない事情で1名が辞退されました。1名の追加募集については、今年度募集するよう総務部に話をしている。

(8) 議事

【各種団体役員の選任について】

会長

各種団体役員の選任について、事務局から説明をお願いします。

事務局

田平町体育振興会理事の推薦2名について、田平町青少年健全育成会運営委員の推薦1名について、平戸市行政改革推進委員会委員の推薦1名について、選任方法を含めてご協議をお願いします。

会長

ただいま、事務局から説明がありましたとおり、委員の中から田平町体育振興会理事を2名、田平町青少年健全育成会運営委員を1名、平戸市行政改革推進委員会委員を1名、推薦しなければなりません。どのようにいたしましょうか。立候補あるいは推薦あるいは選考委員会を設けて決定するという方法がありますが、いかがいたしましょうか。

委員

田平町体育振興会理事2名と田平町青少年健全育成会運営委員1名は留任をお願いしたいと思います。平戸市行政改革推進委員会委員1名について推薦でいかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり。)

会長

ただいま、委員より田平町体育振興会理事2名と田平町青少年健全育成会運営委員1名は留任がいいということですが、田平町体育振興会理事は永井正則委員、針尾郁子委員、田平町青少年健全育成会運営委員は松本一郎委員であります。いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり。)(「異議あり」と言う者あり。)

会長

委員から異議ありということですので、意見をお聞きしましょう。

委員

2期務めています。その時は一番若いということになりましたが、今回は若い委員さんもおられますので、バトンタッチした方がいいのではと思います。

会長

委員から意見がありましたが、また、委員から3委員については留任という提案もありましたが、皆さんいかがでしょうか。

委員

年齢は関係ありません。やる気を起こしましょう。留任をお願いします。

会長

委員、そういうことですので、ご理解をお願いします。

(「拍手」する者あり。)

ありがとうございました。委員よろしくをお願いします。確認いたしますが、田平町体育振興会理事は永井正則委員、針尾郁子委員、田平町青少年健全育成会運営委員は松本一郎委員に決定いたしましたので、よろしくをお願いします。

あと一点ですが、平戸市行政改革推進委員会委員1名を推薦することになります。ご意見ございませんか。

委員

長年、総合計画を立てるときから、ずっと携わっている早田委員を推薦したいと思います。

(「拍手」する者あり。)

会長

早田委員を推薦ということですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と言う者あり。)

それでは、平戸市行政改革推進委員会委員に早田委員を推薦することに決定いたしました。

(「拍手」する者あり。)

【まちづくり活性化事業交付金について】

会長

それでは次に審議事項 2 まちづくり活性化事業交付金につきまして、まずは平成 26 年度まちづくり活性化事業交付金実績評価について、事務局の説明を求めます。

事務局

平成 26 年度まちづくり活性化事業交付金の実績評価をしていただきますが、その前に採点の流れを説明いたします。

～採点の流れ説明～

以上、よろしく申し上げます。

会長

ただいま、事務局より審査の方法について説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

委員

配点と加点はどのように理解したらよいか。

事務局

配点は点数の上限であり、加点はその項目に配点の上限内で点数をつけることです。

会長

ほかに質疑がございませんから、各事業について説明をお願いします。

事務局

～以下の事業の実績報告書を基に説明～

- ・ たびら春まつり
- ・ たびら夏祭り花火大会
- ・ たびら中瀬草原クロスカントリー大会
- ・ 田平つばき物産展
- ・ 光のフェスタ

会長

各事業の説明が終わりましたので、ご質問があればよろしく申し上げます。

委員

基本的に行政として、この事業を継続したいと思っているのか。前向きな検討があるのか。

事務局

民間で立ち上げられた事業でありますので、そのやる気を尊重し、市も交付金として交付し実施していただいたところです。しかし、交付金は貴重な税金財源でありますので、きっちと評価をし、今後どうあるべきかを考えなくてはならない。あくまでも継続が前提ではなく、見直すべきところは見直し、やるべきところはやる、そのような考え方で評価をすると考えている。

会長

ほかにございませんか。ないようですので、これより採点に入りたいと思います。なお、たびら春まつりについては、実行委員会委員であります安田委員は審査に加わるできません。たびら夏祭り花火大会については、実行委員会委員であります安田委員、久原委員、松本委員、永井委員については審査に加わるできませんのでご了承ください。

それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら審査表と資料を回収させていただきます。集計につきましては時間を要します。結果が分かり次第報告いたします。審査が終わりましたら 10 分間休憩に入ります。

〔休憩〕

会長

それでは、審議を再開いたします。次に平成 27 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金事業審査について、事務局の説明を求めます。

事務局

それでは、平成 27 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金の審査を行っていただきますが、その前に審査方法について説明いたします。

～審査方法の説明～

それから、今年度から新たにながわっば祭りが加わっております。この事業は以前より行われてきた歴史ある事業でございますが、これまでは本庁予算の委託事業として行われてきておりました。これが、今年度から予算の見直しにより、地域性が

高いということで、この交付金事業に組み込まれています。併せて交付金の予算も 15 万円増額になっておりますのでご報告いたします。以上、説明を終わります。よろしく申し上げます。

会長

ただいま、審査の方法、流れについて事務局より説明がありましたが、これについて何か質問はありませんか。特にないようですので、審査に入ります。申請団体の入場をお願いします。まず、たびら春まつりについて、申請団体でありますたびら春まつり実行委員会からの説明をお願いします。時間配分は 5 分説明、5 分を質疑応答にします。時間が限られていますので、昨年度と違う点を特に説明してください。

委員

平成 26 年度の実績評価の点数を見てから審査したいと思いますので、まずは報告をお願いします。

会長

まだ、集計されていないようですので、暫時休憩いたします。

〔休憩〕

会長

それでは、審議を再開いたします。事務局から集計結果の報告をお願いします。

事務局

平成 26 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金のたびら春まつりの実績評価ですが、平均 90 点、総合評価が A です。コメントですが、会場が田平支所周辺から平戸瀬戸市場に変更になり、混雑がめだったようですとのコメントです。以上です。

会長

それでは、説明をお願いします。

たびら春まつり実行委員会事務局

平成 27 年度第 38 回たびら春まつりの説明をいたします。今年度のたびら春ま

つりは、今月の25日土曜日、26日日曜日の二日間、会場を昨年はシーサイドエリアでしたが、田平支所裏に戻りまして開催を予定しています。事業内容につきましては、田平産牛肉、野菜苗、農産物、鮮魚、農水産加工品、園芸用品、日用雑貨等の販売、ステージイベントを予定しています。会場内のイベントですが、魚のつかみ取り、もちまきなどを開催し集客に努めてまいります。また、関連イベントといたしまして、ゲートボール大会、田平公園におきましてテニス大会を開催いたします。出店者数につきましては、本年度市内が17店、市内が7店、露店が15店の合計39店を予定しています。なお、店舗の配置につきましては、別紙会場配置図を添付しています。予算につきましては、今年度4,394,000円を計上させていただいております。簡単ですが以上でございます。よろしくお願いいたします。

会長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。ご質問ありませんか。

委員

昨年の出店者数を教えてください。

たびら春まつり実行委員会事務局

昨年の出店者数は市内が14、市外が10、露店が14の計38です。

委員

場所代は昨年と今年と一緒ですか。

たびら春まつり実行委員会事務局

出店者負担金につきましては、昨年までが市内が5,000円、市外が11,000円、露店については4,000円でしたが、今回テントのリース料等があがっているために市内、市外は2,000円増、露店は3,000円の増となっており、市内は7,000円、市外は13,000円、露店は7,000円です。

委員

高すぎるとの意見が2、3ありました。テントの借上げ料等は工夫できないものかとの話があったけど、やはり技術屋さん任せないとできないものか。自前でどうにかできてテントの借上げ料を安くすることはできないものか。

たびら春まつり実行委員会事務局

そういう話もありましたが、実行委員や出店業者の高齢化があって、業者さんに

撤去するまでお願いした方がいいということになりました。

委員

2日で7,000円、なかなか7,000円稼ぎきれない。止めますという話もあって
いる。そのことが出店者に無理がいつているようだったので、テントぐらいしか安
くできないのかと思って聞いたところです。

会長

他にございませんか。

委員

農産物のことについてお尋ねします。一昨年まではここでやってたので、瀬戸の
寄り道が地元農産物の販売を一手に受けてやってたのですが、昨年はシーサイ
ドでやるということで、瀬戸市場さんがその役を担っていただけだろうという
ことで瀬戸の寄り道は撤退いたしました。今回はこっちに戻ってきたのですが、寄
り道の中にはもう寄り道としての役目は終わったのではないかとこのことで、今回
出店しておりません。この中身を見てみると地元農産物の販売の店は載ってない
と思います。チラシの中にも新鮮な野菜、ないものもあります。野菜というのが出
ないような状態になる。であれば、やはり母体がしっかりしている瀬戸市場さんあ
たりに出店をお願いすべきではないかなと思います。寄り道もやってきましたが、
母体がだんだん衰退しているようで、出せるような状態ではないとのことで、やは
りいま盛況な瀬戸市場さんあたりに出してもらうのがいいのではないかと私は
思っていますが、その辺についてお尋ねします。

たびら春まつり実行委員会事務局

おっしゃるように、瀬戸の寄り道さんが出られないということで、野菜販売につ
いては、万場の夕市さんが出店されますけど、確かに今後の課題ではあります。や
はり野菜というのも昔と違って、瀬戸の寄り道はじめ、瀬戸市場、それから昆虫道
の駅の方でも売っているわけです。当然この祭をするにあたっては、瀬戸市場との
連携は必要不可欠だと思っていますので、ご指摘の点をその野菜の部分について
は瀬戸市場さんとどう連携を図っていくのか、その他の部分もそうかもしれませ
んけど、そういう方向で今後検討しなければいけないのかと思っておりますので、
よろしくをお願いします。

委員

このチラシとこの白い配置図と何箇所か違うようですが、混乱しませんか。

たびら春まつり実行委員会事務局

チラシが誤りで白い配置図の方が正であります。会場には大きめの案内図を配置するようにします。

会長

他にございませんか。ないようですので、採決を取ります。たびら春まつりは申請どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)

異議なしということですので、たびら春まつりは申請どおり決定いたします。

会長

次に、たびら中瀬草原クロスカントリー大会について、申請団体から説明をお願いします。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

たびら中瀬草原クロスカントリー大会について説明いたします。今回お手元の資料どおり、1,410,000円を申請させていただいております。元々、たびらクロスカントリー大会は田平公園で行っておりましたが、参加者の足や膝にかかる負担を減らすということから、中瀬草原へ変えて平成27年度で18回目を迎えるところであります。屋外スポーツといいますが、グラウンドという種目がほとんどでありますけど、クロスカントリーはグラウンド外を使うということで、屋外スポーツの中でも特に大事なものとして、これまで多くの方々に携わっていただきながら続けてきているところでございまして、今後も続けて行きたいと考えております。お手元の資料にもありますけれども、以前は800人前後いたのが、現在は確かに減少して600人程度なっています。これは町内の児童生徒の減少もかなり大きく影響しております。例えば東小学校、南小学校におきまして、複式が検討されることにもでてきておりますし、その影響で中学生も減ってきているところから、集客には少し力を入れておりながらなかなか実績をあげていないところでございますが、町内の児童生徒それから市民の皆様のためのスポーツとして、特に児童生徒については参加料無料ということでできる限り町内のスポーツ人口の増、それから活性化ということでこの事業を進めてきております。今年度は事業費として、1,690,000円を予定させていただいておりますが、交付金以外につきましては、参加料それからうどんの販売料を収入として考えております。支出の主なものは賞品代それからゼッケンなどの準備費これが大きなところでございます。説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

会長

それでは、説明が終わりましたので、これより質疑を行いたいと思います。

委員

実績をみれば平戸市内から 22 人ですよ。小学生。高校生は田平は 0、平戸市内全部で 3 人、一般壮年で 5 名、ファミリー 3 人、たったこれだけの集客で、あとは田平の生徒が全部で 260 人ぐらい出てますけど、実際効果があるのか。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

おっしゃるとおり、町内の皆さんの参加が確かに減ってきておりますが、これは小学生、中学生のスポーツ大会などと重なってなかなか難しい時代になってきております。ですが、極力学校のご協力を得ながら、これまでやってきておりますので、これから先も特に中学生、高校生の参加を改めてお願いしながら、継続させていただきたいと思っております。

会長

ここで、評価結果がでましたので、お願いします。

事務局

平成 26 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金のたびら中瀬草原クロスカントリー大会の実績評価ですが、平均 81 点、総合評価が A です。コメントですが、少子化になり参加人員の減少がこれからも心配。計画人口の 1/2 の実績で毎年減少があり大会は必要か。とコメントをいただいております。以上です。

会長

それでは、質疑に戻ります。他にありませんか。

委員

これまで参加人員が計画人員の半分しかきていない。ということは、大会経費もちろん参加料も少なくなるでしょうから、交付金も半分でいいということになります。学校の教育関係から言わすれば、なるだけ盛り上げてして、体力づくりということもあってせんばでしょうけれども、他の事業はもっと運営が厳しい、協賛金などを集めてしている中で、ちょっと使いすぎではないか。これは予算の問題もあるけれども、だめというわけにはいかんけど、例えば参加負担金を少しでも上げれば違うのではないかなと思いとるところです。例えば出店に対しても、高い出店

料をとって赤字覚悟で出店しているイベントもあるわけですから、極力経費を削減してもらいたいと思います。

委員

開催日が決まっていますね。12月13日。だから開催日を考慮する必要があるんじゃないか。特に寒いから出ない人もいると思いますし、他の行事といまは少年スポーツとか少ないのにあっちの区こっちの競技に引っぱられてますから、開催日の検討も考える必要があるのではないかと思います。せっかく12月はたびら中瀬草原クロスカントリー大会があると根付いてきているようですが、もしこれだけ人数が減るといことになれば、開催日の変更を考えた実施というのもできるのではないかと思います。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

貴重なご意見ありがとうございます。始めた時に周りの町のイベントなどを考慮しながら決めたと考えてますが、改めて小中学校の行事、近隣の町などの行事を調べたあとで時期的なものを考慮していきたいと思います。

委員

18回目ということですが、過去5年間のデータを分析してほうがいいです。予算がどうだったのか。参加者がどうだったのか。多いときもあったと思いますので、だから小学生が減ったとか何が減ったとか言っても確かにそういう原因があるとは分かっていますが、あとは意識が、着眼点をどこにもっていくか。削るところは削らないといけないのではないか。その削ったのを参加者に奉仕するような形でされたほうがいいと思います。だから、そのデータがあれば分析されて、皆さんに説明された方がいいと思います。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

ここに持ち合わせてはませんが、事務所にはデータが残っておりますので、改めてそれを含めて精査したいと思います。

委員

小学校、中学校の取り組み方、当時おられた先生の取り組み方で変わってきている。学校単位で出ようと言われる先生がおられれば、参加者も増えてきます。ですから、教育委員会と学校とのつながりを密にして、生徒を参加させていただくようなもっと取り組みをやられてください。以前は参加者が多かったときには、申込書をこれでもかというように持っていったり、そういった取り組みをやったとき

には参加者が多かったと思います。だから、しますよ、来てください、ではだめだ
と思います。そこらへんをもっと熱を込めてやっていただきたいと思います。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

おっしゃるとおり、体育の先生の熱心なときは、中学校の授業の一環として、中
学1年生2年生全部参加ということもありましたので、また改めて根本的な取り
組み、関わり方の見直しをさせていただきたいと思います。

会長

それでは時間の都合もありますので、これで質疑を終結したいと思います。それ
では、審査採決に移りたいと思います。申請団体であります、たびら中瀬草原クロ
スカントリー大会実行委員会のたびら中瀬草原クロスカントリー大会について、
皆さんへお諮りいたします。たびら中瀬草原クロスカントリー大会につきまして、
申請どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)(「異議あり」と言う者あり。)

それでは、採決いたします。賛成の皆様の挙手を求めます。

賛成多数でありますので、申請のとおり決定いたします。

会長

それでは、次ががわっぱ祭について申請団体であります、がわっぱ祭伝承会から
の説明をお願いします。

がわっぱ祭伝承会

今年度からまちづくり活性化事業の対象ということで、事業の説明にあがりま
した。皆さん既にご承知かと思えますけれども、今回で28回目になります。すっ
かり定着した感はありますけども、まだまだ全体的な周知に欠けているのかなと
思いますが、これからも続けていかなければならない事業ではないかと思ってお
ります。この事業は古くから全国各地に伝わっておりますかっぱ伝説で、田平には
古い話ですけど1752年と言われております。今から263年前ですが、当時いたず
らしていたかっぱを和尚が子供や動物にいたずらをするなど6万個の石と一緒に
川に沈めたのがその始まりと言われて、がわっぱの碑まで子供たちを中心とした
がわっぱ神輿、それからがわっぱのパレード、それとがわっぱけんけん相撲そうい
ったことを中心に取り組んでいます。最大の目的は子供たちの健全育成、ちょうど
夏でありますので水難あるいは交通事故の防止そういったところを目的として取
り組んでいます。これまでいろんな形で取り組んできましたが、伝統芸能を守る伝
統文化を守るそこに視点を置いていた関係で、どうしても子供中心健全育成中心

という形になっていましたけれども、今回まちづくり活性化事業という形になってきますと、当然それを考えなければ許されないと思っております。地域の活性化に繋がっていく事業に重きを置いていかなければと思っております。幸いですが、そういったことが少しずつ浸透してきたというのもあるのでしょうか、いろいろな形で関係団体の方のご協力をいただいております。一番関わっていただいております商工会女性部の皆さん、親和銀行からうちわを提供していただきまして、そのうちわにがわっばの絵を書いて提供とかっぱ巻き、最近では30メートルを子供たちに手伝ってもらって作っていますが、距離を伸ばそうというふうに考えておりますけれども、町民センターの会場の都合もありまして、なかなか一本で30メートルはできないということで、二本に分けてやっております。そういったことで商工会女性部の方が積極的にご協力をいただき、それと活性化協議会の若い方たちががわっばの仮装をして、子供たちの行列と一緒に参加していただいております。それから田平町青年団ががわっば相撲の運営に関わっていただいております。それと、スタンプクラブの彫刻会、商工会青年部、JA田平支店、親和銀行、青少年健全育成会という形で、協力の輪ができあがってきていることは、これからの活性化にある程度つながっていくのでは、そういう希望を持ちながら進めていきたいと思っております。平成23年度に平戸夏めぐりの第一弾として取り上げられたこともあります。それとマスメディアの宣伝ですが、これまでもラジオに出演して宣伝したこともありましたが、しかしラジオは当日や前日であったりしますから、前もってマスメディアに宣伝できる体制を進めていければと思っております。皆さんのご存知と思しますので、あくまでも子供たちの健全育成、地域の活性化につながるような事業にしていきたいので、よろしくご審議をお願いいたします。

会長

それでは、説明が終わりましたので、これより質疑に入りたいと思っております。

委員

まちづくり活性化事業になったことから、ごく一部の地域の事業から田平全体に事業を展開しなければいかんと思うのですが、神輿を引く稚児さんなどの募集なんかも田平町全体に呼びかけていかん。いまどういうふうな募集の仕方をしてらっしゃるのですか。

がわっば祭伝承会

おっしゃるとおりです。いまは各小学校に行列参加とがわっば相撲の申込書を渡しております。全児童にいくように渡しております。結果をみると北小が中心ですけれども南小、東小も参加がっております。

委員

実行委員の中に小学校長を役員に入れれば、スムーズに行くのではないのでしょうか。

がわっば祭伝承会

そのあたりは検討したいと思います。

会長

他にございませんか。ないようですので、がわっば祭伝承会のがわっば祭について皆さんへお諮りしたいと思います。がわっば祭については、申請どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)

異議なしということでございますので、がわっば祭については、申請どおり決定いたしました。

会長

次に、田平つばき物産展について、申請団体であります田平つばき物産展実行委員会からの説明をお願いします。

田平つばき物産展実行委員会

それでは、平成 27 年度第 42 回田平つばき物産展の説明をいたします。今年度は平成 28 年 2 月 27 日土曜日、28 日日曜日の二日間、平戸つばき祭との合同開催として田平町民センターでの開催を予定いたしております。事業内容につきましては、愛好家の方が育てたつばきの鉢物展示、つばきを題材としました小中学生の絵画、幼稚園、保育園の作品、その他各種団体やグループの方から出展していただいたガラスアート、押し花、水彩画等の展示を予定しております。物産展としては、町内で生産されました農産物や加工品、手芸の販売を行いまして、地場産品の振興に努めるよう考えております。また、研修室におきまして、27 日に接ぎ木講習会、28 日に絵画の表彰を行いまして、同時に教育委員会田平分室やつばきスタンプスラブの協賛事業も受けまして、集客に努めていきたいと思っております。予算につきましては、今年度 170,000 円を計上させていただいております。以上でございます。よろしく申し上げます。

会長

説明が終わりましたので、これより質疑に移りたいと思います。

委員

毎年行ってますが、以前と比べて昨年はお客さんが多かったです。その前までみるとやめたほうがいいと思っていましたが、何か特別理由があったのかどうか説明をお願いします。

田平つばき物産展実行委員会

入場者数につきましては、26年度828名、25年度は854名と若干少なくなっていますが、平戸の会場がバスを利用して入場者数が26年度500名、25年度が450名と増えております。野菜販売につきましては、野菜の品数が減っていますが、平戸との合同開催による相乗効果があったとみられます。

委員

MRが地域のイベントに併せて感謝デーとして1日200円のときがあったのですが、MRとつつじ祭会場で大勢の市外のお客さん佐世保のお客さんが多かったです。平戸市のお客さんからは平戸会場はつばき展だけで売店がなく、たびらは売店があるいろいろなイベントがあつてつばきを見る以外に楽しみがある。ここは賑やかですねと言われたことがありました。だから、野菜も馬の元のふれあい友市さんの加入者が少なくなったということですが、野菜の出店は昨年はちょっと寂しかったみたいですけど、売店があることによって活性化していく感じがありますので、ぜひ続けていただきたいと思います。

会長

他にございませんか。それではただいまの申請団体であります田平つばき物産展実行委員会の田平つばき物産展について皆さんへお諮りしたいと思います。田平つばき物産展については、申請どおり決定することにご異議ございませんか。（「異議なし」と言う者あり。）

異議なしということでございますので、田平つばき物産展については、申請どおり決定いたしました。

会長

次に、たびら夏祭り花火大会について、申請団体でありますたびら夏祭り花火大会実行委員会からの説明をお願いします。

たびら夏祭り花火大会実行委員会

平成27年度のたびら夏祭り花火大会につきましては、決定している事項として

は、第 36 回たびら夏祭り花火大会は開催日が毎年同じように 8 月 17 日、今年は月曜日になり、昨年同様田平港一体で実施いたします。事業実施につきましては、今後実行委員会を開催いたしまして進めていくこととなります。主役は平戸大橋をバックにした花火ということで、イベント内容もご意見があるかと思いますが、今後とも皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。ただ一つ懸念されるのが、予算面で厳しいところもございますので、更なるご支援をよろしくお願いいたします。

会長

説明が終わりましたので、これより質疑に移りたいと思います。

委員

予算面を言われましたけど、私も協賛金を集める係りをやっていますが、廃業される店が多いです。廃業されたら協賛金をいただけない。ですからその点が収入減に直接つながっている。他の事業についても予算の比率を考えていただいて、内容も精査していただきたいと思います。

委員

田平で一番のメインの行事だと思います。消費税も上がっているし、交付金の 800,000 円というのは、他のイベントの比率にして非常に少なすぎと思います。不公平だと思いますので、交付金を増やしたい気持ちです。

委員

平戸の花火の予算なんですけど、入場者数はほぼ同じ 20,000 から 25,000 だと思うのですが、田平よりだいぶもらっていると思います。たびら夏祭りは平戸市全体のまちづくり活性化の一躍を担っていると思ってますので、交付金を 10 年前の合併当時の交付金の額をそろそろ見直す時期ではないかと思います。これは田平だけではなく、平戸も大島も生月も継続事業として盛り上がっている事業にはお金を出すとか、衰退してきている事業には減額しますとか、そやっていかないと全ての事業が成り立っていかなくなると思います。それと、ふるさと納税の一部をまちづくり活性化事業にあてることはできないのかなと思います。

事務局

できないことはないと思います。やはり何をやるのかというのが重要であると思いますし、検討課題であると思いますが、いま言われたように交付金というのは自分たちで自由に配分できるというメリットがある。新しいコミュニティの中

でも交付金制度を導入してやることになっています。

会長

他にございませんか。ないようですので、申請団体でありますたびら夏祭り花火大会実行委員会のたびら夏祭り花火大会について皆さんへお諮りしたいと思います。たびら夏祭り花火大会については、申請どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)

異議なしということでございますので、たびら夏祭り花火大会については、申請どおり決定いたしました。

会長

次に、光のフェスタについて、申請団体であります光のフェスタ実行委員会からの説明をお願いします。

光のフェスタ実行委員会

今年で9回目を迎えます。田平公園を中心にイルミネーションを飾っていますが、新しいイベントとしては今後実行委員会を開いて内容を検討していきたいと思っております。去年の内容としましては、平戸北部の8保育園幼稚園の協力をいただいて400名の児童の願い事シートを会場に張ったり、スタンプラリーという形で、田平公園から日の浦商店街の方へ回ってもらうイベントをしています。スタンプラリーについては、改善が必要と思っています。去年の反省として、イルミネーション点灯と花火の打ち上げを同時に行っていましたが、イルミネーションの点灯を早くして、イルミネーションを見ながら花火を打ち上げた方がいいということで、今年はそういう形にしていきたいと思っております。日の浦商店街に人を回りたいという形にはしていますが、なかなかいいアイデアが出てこないもので、今後実行委員会で話をしていきます。以上です。よろしくお願いいたします。

会長

説明が終わりましたので、これより質疑に移りたいと思います。

委員

質疑ではないんですけど、何年か前に光のフェスタの時に婚活をやったらどうだろうかという提案をしたことがあります。いま平戸のまち婚なんかもありますので、ぜひ合同でされて、商店街のところで食べられるということでまち婚、婚活の中に入れてもらうともうちょっと人が集まっていいと思います。

光のフェスタ実行委員会

婚活の企画は光のフェスタ実行委員会ではできないと思いますので、婚活、まち婚の実行委員会からご提案があればタイアップとして実行できる協力できると思います。

委員

ぜひ頑張ってください。呼びかけをお願いします。

会長

他にございませんか。ないようですので、申請団体であります光のフェスタ実行委員会の光のフェスタについて皆さんへお諮りしたいと思います。光のフェスタについては、申請どおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と言う者あり。)

異議なしということでございますので、光のフェスタについては、申請どおり決定いたしました。

以上で、平成 27 年度まちづくり活性化事業交付金の 6 事業について、すべて審査を終了いたします。審査の結果、すべての事業で採択とし、その結果を市長へ報告し、審査結果を申請団体へ通知いたします。これで、審議事項は全て終了いたします。次にその他でございますが、事務局より説明をお願いします。

事務局

～以下について説明～

(1) 地域おこし協力隊

(2) 地域協議会だよりについて

会長

事務局からは以上です。他に委員の皆さんの方から何かございませんか。ないようでしたら、以上をもちまして、平成 27 年度第 1 回田平町地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

17 時 15 分 閉会

9 . 会議録の公開・非公開 公開

